

今月号は、夏休みなので、「立ちどまら」という題で、多くの方が書いてくださっている。私も立ちどまって、この雑誌の最近のものを読み直した。そして、心を打たれた。

六月号に、石垣島の幼稚園の牧野先生が、八重山の石垣島のわらべうたを紹介されている。ウティリョー ジンジンパーレ アガリョー ジンジンパーレ (おりておいでよ ほたる 舞いあがれよ ほたる) ただ二行の、この沖繩のわらべ歌が、子どもの世界のこまやかなひだをことごとく含んでいるように思えて、何ともいえない感動を覚えた。立ちどまって読み直し心を動かされた多くのものを代表して、ひとつだけ引用させていただきます。次第である。

夏休みは、子どもの教育にたずさわる者にとっては、大切な時である。休んで

いるようにみえるけれどもそうではない。自分をとりもどす時である。子どもにふれる者が、自分の世界が小さく狭くなったら、子どもをも小さくしてしまふ。その殻を破って、広く大きな世界に出てゆくのが夏休みである。旅行をするのもよいが、それだけではない。昨年夏休みが終ったとき、ある先生が話してくれた。夏休みに入る前は、早く夏がこないかなと思っていたのに、休みになったら、毎朝六時に起きて、年寄りと草とりをして、ごはんをつくって、ごはんをたべて、夕方涼しくなるとまた草とりをして、夜ラジオをきいて、夏が終ってしまったんですよと。私は、いい夏休みだなあと感心した。ゆっくりと回転させることは、忙しく追われるのになれている人には苦痛に思えるが、それが忙しく荒れた心を癒し人間の心をとりもどさせてくれるのではないだろうか。

幼児の教育 第七十四巻 第八号

八月号 ◎ 定価二〇〇円

昭和五十年七月二十五日印刷

昭和五十年八月 一日発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします